

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	やどりぎ		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日		2025年 10月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		2024年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職によるアセスメントと療育。	公認心理師・臨床心理士・言語聴覚士・保育士・ピジントレーナー・PECS@レベル1レベル2ワークショップ修了の指導員などの専門職が在籍しているため、各専門の強みを活かし、総合的な個別療育を行っている。	定期的に事業所内での勉強会を行ったり、外部の研修に参加したりして研鑽を積んでいる。
2	季節のイベントごとに小集団活動の実施。	コミュニケーションの力を養うために、夏祭りやハロウィンなどの季節の行事で小集団での活動を行う。	今年度から取り組みを始めたので来年度も継続して行っていく。年4回は実施していけるようにする。
3	ペアレントトレーニングの実施。	親子のより良い関わり方の情報を共有し、参加者で日常の子育ての困りごとを解消することで、楽しく子育てができるように支援するプログラム。基礎コース全4回を定期開催している。	希望者多数の場合は開催期間の延長などの検討を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用時間が短い。	利用時間は、就学後の授業時間を考慮し、児童が集中できる時間に設定している。	
2	当事業所と自宅や園、学校間の送迎を行っていない。	対面での保護者とのタイムリーな情報共有や保護者同室での療育が大切だと考えている。	送迎の今後の今後の導入予定は未定である。
3	集団療育を行っていない。	通園している児童が多いためニーズが少ない。	季節のイベントなどの開催を検討する。